

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年12月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【既設淡水化装置(RO-3)高圧ポンプVベルトのゆるみについて】 協力企業作業員が、既設淡水化装置(RO-3)高圧ポンプのVベルト6本のうち1本に、ゆるみがあることを確認。既設淡水化装置(RO-3)を停止し、当該Vベルトの交換を実施。その後、試運転により問題ないことを確認済み。	GⅢ	12月8日
2	【第三セシウム吸着装置ブースターポンプろ過水供給元弁の開動作不良について】 協力企業作業員が、第三セシウム吸着塔交換作業の際、当該装置ブースターポンプろ過水供給元弁を遠隔および手動にて開操作するも、開動作しないことを確認。なお、第三セシウム吸着装置は、現在点検作業により非待機中であり、別系統が使用可能のため、作業に影響なし。今後、当該弁の分解点検を予定。	GⅢ	12月8日
3	【既設多核種除去設備(A)バッチ処理タンク1A pH計サンプルラインの閉塞について】 当直員が、既設多核種除去設備(A)の運転中、免震重要棟集中監視室の監視盤に「バッチ処理タンク1A pH計サンプル流量低」の警報発生を確認。調査の結果、pH計サンプル流量を調整するも流量が回復しないことから、当該サンプルラインの閉塞が原因と推定。なお、当該サンプルライン1Aは閉塞しているが、バッチ処理タンク2A側に受け入れを切り替えることでpH計の測定が可能であり、既設多核種除去設備(A)の設備へは影響なし。今後、12月末の定期点検にて当該サンプルラインの清掃を実施予定。	GⅢ	12月7日
4	【1号機 原子炉建屋オペレーティングフロア ダストモニタ(B)の警報発生について】 当直員が、免震重要棟集中監視室の監視盤にて、1号機 原子炉建屋オペレーティングフロアのダストモニタ(B)機器異常の警報を確認。調査の結果、当該装置(B)を含む5台のダストサンプリング装置に異常がないことを確認。当該ダストサンプリング装置(B)の吸い込み側を確認した結果、サンプリングホースの折れ曲がりおよび当該ホースの固縛ワイヤー固定部の外れを確認。警報の原因は、固縛ワイヤー外れに伴いホースが風で揺動し、当該ホースの折れ曲がりによる圧力異常と推定。当該ホースの折れ曲がりの修正を行い、ワイヤーを適切に固定したうえでホースが揺動しないよう修正済み。	GⅢ	12月8日
5	【トランス絶縁油の移動タンク貯蔵所における安全弁の動作圧力規定値外れについて】 協力企業作業員が、消防法に基づく定期点検のうち、トランス絶縁油の移動タンク貯蔵所(ISOタンク)の安全弁動作試験を実施の際、当該移動タンク2基が規定値外の値で動作したことを確認。今後、当該弁の交換を予定。なお、交換を実施するまでの期間は使用禁止措置とするが、当該タンクは来年度以降のトランス撤去作業まで当面使用しないため、問題なし。	GⅢ	12月6日
6	【キャスク搬送台車の操作電源ランプ消灯について】 協力企業作業員が、共用プール新燃料外観確認の準備作業においてキャスク搬送台車を使用する際、操作電源ランプ消灯により台車が運転できない状態であった。調査の結果、制御電源回路に使用の電流変換器の電圧が低下していることを確認。今後、当該電流変換器を代替品へ交換予定。	GⅢ	12月7日
7	【5号機 放射性廃棄物処理系床 dren 収集ポンプ吐出弁のシート漏えいについて】 当直員が、放射性廃棄物処理系床 dren 収集タンクの水移送操作の際、ポンプを停止し、吐出弁が全閉の状態であったが、当該収集タンクの水位の指示が低下していることを確認。当該床 dren 収集ポンプの6号機側の連絡弁を全閉としたところ、水位の低下が停止したことから、吐出弁のシート漏えいが発生していると推定。なお、収集タンクの水移送時は当該吐出弁を全開状態で使用するため問題なし。今後、当該吐出弁の分解点検を予定。	GⅢ	12月9日